

ローラーウォーカーバロン 取扱説明書

この度は、当歩行器をお買い求めくださり誠にありがとうございます。

下記の取扱説明をお読みくださり、正しく御愛用くださいますようお願い申し上げます。

★この取扱説明書は大切に保存してください。★

【特徴】

- ◆ 身長170cm以上の方が快適に使用できる大型歩行器です。
- ◆ 掌状に成形されたハンドルと比較的軽量な本体フレームで容易にコントロールできます。
- ◆ 20cmを超える大きな車輪ですので、屋外でも安定したスムーズな走行が可能です。
- ◆ 停止時、ブレーキを固定でき、腰掛けても安心です。
- ◆ 丈夫で程良いクッション性の座面と背もたれが腰掛けても快適です。
- ◆ 座席下には大きな収納バッグが備えられて、便利です。
- ◆ 使用しない時は、自立しませんが折畳んで小さくすることが出来ます。

【寸法調整の方法】

- ◆ 正しい寸法の決め方を参照して握り位置を決めて、専用ボルトで固定してください。

【正しい寸法の決め方】



- ◆ 水平な場所で歩行器の握りの間に体を置き、両手を体側面に自然に置き、手首関節が握り上端に揃う様な高さが適当な握り高さの目安です。
- ◆ 正しい寸法については医師や、各種療法士等の専門アドバイザーの方にご指導を仰いでください。

【使用上の注意】

- ◆ 上記【正しい寸法の決め方】を参考に身体に合った寸法で御使用ください。
- ◆ 当歩行器は、『つえや歩行器』なしで自立歩行できる人が、より安定して歩行できるよう補助的に使用するものです。次の①②に該当する場合の使用には適しません(体重をかけすぎたりすると、かえって肩や手を痛めたり、歩行器と一緒に転倒することもあるからです)。又、購入後次のような状態になった場合は使用を停止すべきです。
 - ① つえや歩行器なしでは歩行できない方(手すりに伝わらなければ歩行できない方、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない方が含まれます。)
 - ② リハビリ中などのように、体重の一部を支えないと歩行できない方。ただし、医師などの指導の下での使用は含みません。
- ◆ 不適當な寸法の状態で使用すると、正しく歩行できないばかりか、体に不都合が生じる場合がありますので、歩行並びに取扱いには医師及び専門のアドバイザーの指導に従ってください。
- ◆ 折り畳み状態から展開する場合、座席下の収納バッグの底を押し下げて、フレーム開脚バーが1直線になるよう押し込んでください。
- ◆ 固定ボルトを増し締めしても握りにガタ付が有る場合は使用を中止してください。
- ◆ ブレーキの効きが悪い場合は購入先で点検調整してもらってください。点検調整してもブレーキの効きが悪い場合は使用を中止してください。ブレーキの固定装置も同様です。
- ◆ 歩行時にはフレーム内(4車輪の内側)に体を置いて握りの真上に荷重が掛かるように握って使用してください。
- ◆ その他、異常音や不都合が生じた場合は使用を直ちに中止して販売店で点検してもらってください。
- ◆ 使用前始業点検を必ず行い、車輪・握りの固定状況ブレーキの効きの確認を行ってください。
- ◆ 車輪が割れたり摩耗したりしている場合は、新しい車輪交換してください。
- ◆ 濡れたり凍結した床面・路面等滑りやすい場所での使用は、十分注意してください。
- ◆ 車輪が嵌まり込むような溝や窪みがある路面での使用は、車輪や本体の破損や、使用者の転倒につながりますので十分注意してください。
- ◆ 用途以外(荷物の運搬・2人以上での使用・乳母車等)に使用しないでください。又、子供には取り扱わせないでください。
- ◆ 1人専用の目的のもので、多人数で使用しないでください。
- ◆ 折り畳み時には、関節部分で指等を挟まないよう十分注意してください。
- ◆ 使用後の手入れは、乾燥させてきれいに清掃してしまってください。但し、長時間使用しない場合は、高温直射日光を避けて保管してください。

株式会社 赤 井

〒558-0011 大阪市住吉区菟田8丁目11番19号

TEL:06-6608-0562

パーキングブレーキの使用法

ブレーキレバーを下へ強く引き下げると

パーキングブレーキが掛かります。

レバーを引き上げると解除されます。



座面高さ:57cm 寸法:幅 32×奥行 36cm

握り高さ:83.5~99.5cm(2.5cmピッチ)

重量:約8.5Kg 使用者体重制限 110Kg

材質 本体フレーム:スチール製

握り:ナイロン

握り支柱:アルミ軽合金

車輪:プラスチック

中国製

部品の確認



握り・前輪後輪共通固定用ボルト
ワッシャ及び握りつきナット



背もたれ

two handles/dos asas



ブレーキ付ハンドル



後輪

(ブレーキ取り付け金具付)



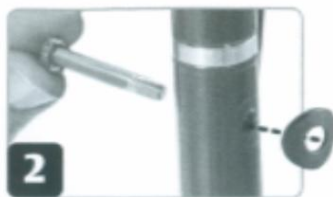
前輪

【組み立て方法】

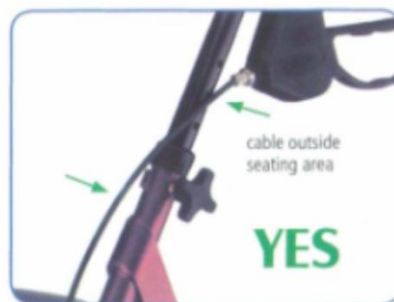
前輪を本体フレームの前輪軸受けパイプに差込み、ボルトと握りつきナットで固定します。
ワッシャはナット側へ入れて下さい。



後輪を本体フレームの後輪軸受けパイプにワイヤーがフレーム外側に廻るように差し込み、ボルトと握りつきナットで固定します。ワッシャはナット側へ入れて下さい。



本体フレームを展開し、握りをワイヤーがフレーム外側に廻るように差込み、【正しい寸法の決め方】を参考に固定用ボルトで固定します。



ブレーキワイヤーは後輪に取り付けて調整を済ませて頂きます

ブレーキが堅すぎる場合は、ブレーキワイヤー端末固定部品を緩めて部品をワイヤー端末方向へ適宜移動させ、固定します。



ブレーキが緩い場合は、ワイヤーの端末部品を操作する前に、ブレーキワイヤーチューブの取り付けネジを廻して取り付け部分を引き出すとブレーキが堅くなります。



この操作でブレーキの効きが緩い場合は、ブレーキワイヤーチューブの取り付けネジを元に戻してから、ブレーキワイヤー端末固定部品を緩めて部品を端末と反対方向へ適宜移動させ、固定します。

背もたれは、固定用ボタンを押し込みながら、本体フレームの背もたれ固定用穴に固定用ボタンがきちんと突出するまで差し込んでください。

